2022年度 後期版

ポリテクセンター新潟 能力開発セミナーガイド

2022.10 ▶ 2023.3

技能を身に付け　更なる高みへステップアップ！

目　次

◆事業主の皆様へ……1P
能力開発セミナー（在職者訓練）
◆セミナー受講のご案内……2P
◆よくある質問……3P
◆ご利用者様の声……4P
◆2022年度能力開発セミナー年間日程表 ……5P～6P
◆コース体系（望ましい受講順序）……7P～9P
◆コース案内……10P～22P
機械系コース／電気・電子系コース／居住系コース
◆指導員派遣（講師派遣・紹介）の案内……23P
◆施設設備貸与の案内……24P
◆北陸ブロック施設能力開発施設等のご案内…25P
◆能力開発セミナー受講申込書……26P

ハロートレーニング ～急がば学べ～

◉事業主の皆様へ

能力開発セミナー（在職者訓練）

「生産性や技能・技術の向上」や「新たな製品づくり」といった企業の生産現場が抱える課題解決のために、機械系、電気・電子系、居住系の「ものづくり分野」を中心とした、設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全などの訓練コースを体系的に実施しています。

レディーメイド型セミナー

在職者の方々を対象に技能・技術・知識の向上、能力開発を目的に各種コース(機械系、電気・電子系、居住系)を年間通じて実施しています。

オーダーメイド型セミナー

レディーメイド型セミナーでは日程や時間帯が合わない、自社の課題や目的に合った研修を実施したいなどのご要望に対し、企業等担当者と当センターでの相談の上、セミナー計画を作成し実施するセミナーです。

オーダーメイド型セミナー計画のポイント

1. セミナーガイドでご案内しているコースは、原則全てオーダーメイド型セミナーとしても実施することができます。
2. 研修会場は原則当センターとなりますが、出張セミナーにも対応します。
3. 実施人数は原則5名以上とさせていただいていますが、別途ご相談ください。
4. 研修時間は1コース12時間以上で1日6時間として、2日以上です。
5. 受講料は当センターの規定に基づき算定しご提示します。
6. オンラインによる実施も可能です。

※ご相談の内容、日程などご要望に添えない場合もありますので予めご了承ください。

ご相談対応
（内容・日程・受講者数など）

↓

実施内容のご提案
受講料の見積額の提示

↓

実施内容・受講料の確認

↓

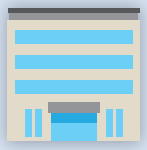
受講料の請求とご入金

↓

セミナーの実施

オーダーメイド型セミナーの活用事例

A社様



〈課　題〉

将来的な業務効率化のため、3次元CADを導入する検討をしているが、実際に使用した上で業務効率向上がどのように実現できるのか、また、社員が使いこなせるのかを確認する必要性があった。

また、実践的なレベルで使用することで、実務への導入イメージをつかみたいが、業務の関係上日程をあまり取ることは難しいため、2日程度で実務レベルでの研修を実施したい。

〈コース内容〉

日程	午前	午後
1日目	1. 設計の流れと検証ツール 2. アセンブリ3ヶ条 3. 設計で重要な部分での着目点	4. 部品の作成 5. アセンブリの基準と サブアセンブリ基準の関係
2日目	1. ボトムアップアセンブリ 2. アセンブリ検証ツール 3. トップダウンアセンブリ	4. 総合課題 （トップダウンアセンブリ）

◉セミナー受講のご案内【必ずお読みください】

1 お申込み

●事前にお電話で希望コースの空き状況をご確認ください。

●空き状況確認後、**「能力開発セミナー受講申込書」**に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送・持参によりお申し込みください。なお、当センターから申込書到着のご連絡はいたしません。（電話での受付はしておりません。）

2 受講料の納入

●セミナー開講日の14日前までを目途に受講料の**「請求書」**及び**「受講票」**を送付いたします。なお、お手元に届かない場合には、お手数でもご連絡ください。

●セミナー開講日の7日前までに銀行へ払い込みください。（振込手数料は受講者負担となります。また、現金でのお取り扱いは行っておりませんのでご了承ください。）

3 キャンセル及び受講者の変更

●お申し込み後の「キャンセル」は、**開講日の7日前までに訓練課受講者第二係へ必ずご連絡ください。**（受講料をお振込み後、開講日の7日前までのキャンセルについては、受講料を返金いたします。開講日前6日以内のキャンセルについては、受講料の返還はできませんのでご了承ください。また、原則として、受講料は教材等の準備の都合により、開講日の7日前まで全額をお振込みいただきます。）

●**受講者の変更は開講日前日までに訓練課受講者第二係へご連絡ください。**

4 キャンセル待ち

●定員以上のお申込みがあった場合はキャンセル待ちとさせていただきます。キャンセルがあり、受講可能となった場合は14日前までを目途にご連絡いたします。

5 コースの中止と変更

●受講申し込みが一定の人数に達していない場合や当センターの都合等により中止または日程変更をさせていただく場合がありますのであらかじめご了承ください。
その場合は、セミナー開始日までに文書または電話にてご連絡いたします。なお、中止になった場合は、納入いただいた受講料は返金いたします。

6 新型コロナウイルス感染防止対策

●感染防止対策の取り組みが社会全体の感染症拡大防止につながることを認識した上で、「3つの密（密閉・密集・密接）」を避けるための基本的感染症対策に取り組んでいます。
なお、飛沫感染等を防ぐため、受講される方にはマスクの着用をお願いしています。

◉よくあるご質問（Q&A）

Q1. 受講を申し込む場合の条件はありますか?

A 各コースに関する基本的知識を有する方としております。より詳細な条件を設定しているコースがありますので、コース案内の「対象者」欄でご確認ください。

Q2. 「能力開発セミナー受講申込書」になぜ生年月日を記入する必要があるのですか?

A 所定の要件を満たした方に訓練の修了書を交付するため、必要とされます。西暦でご記入ください。

Q3. 申し込んだコースを欠席する場合はどのようにしたらよいですか?

A お電話にてご連絡ください。
コース日程をすべて欠席される場合は、使用するテキスト等をお送りいたします。

Q4. 申し込んだコースが中止または変更になることはありますか?

A 受講申し込みが一定の人数に達していない場合や講師の都合等、やむを得ない事情により中止または日程変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、中止コースの受講料を既にお支払い済みの場合は返金させていただきます。

Q5. 受講する際の服装、持ち物はどのようにしたらよいですか?

A 服装については特に決まりはありませんが、パンフレット等及び「受講票」の「持参品」欄に作業服等の指定がある場合は、ご持参願います。また、持ち物につきましても同様に当日、ご持参願います。

Q6. 駐車場は利用できますか?

A 受講者用の駐車場を整備しておりますが、令和4年10月頃まで、実習場の外構工事により、駐車場の収容台数を制限しております。なるべく、公共交通機関等による来所にご協力ください。なお、駐車場内での事故等につきましては、当センターでは責任を負いかねますのでご了承ください。

Q7. 受講者用の食堂はありますか?

A 食堂はありませんが、ご持参いただいたお弁当等を召し上がることのできる会場をご用意しております。

Q8. 各コースの会場へはどのように行けばよいですか?

A 「受講票」に会場を記載しています。また、会場を変更する場合がありますので、開講日に本館案内板をご覧になってください。

Q9. 同じコースなのにどうして受講料が違うのですか?

A 開催時期や曜日により、冷暖房費や警備代を含めていることから受講料に変動が生じるためです。

Q10. セミナー修了証書の交付条件はありますか?

A 修了証書は出席時間が12時間以上かつ訓練時間の80%以上となる場合に交付いたします。なお、修了証書の再発行はできませんのでご了承ください。

Q11. セミナーの受講により、人材育成に係る教育訓練としての助成金を活用することができますか?

A 働く方々の人材育成を段階的体系的かつ効果的に促進するための人材開発支援助成金制度がありますが、受給要件、申請手続き方法などは厚生労働省ホームページをご覧ください。

オーダーセミナー利用企業様の声

弊社が求めている育成計画に沿った内容で受講ができ、将来を見据えたスキルアップが計れました。

撮影場所：ポリテクセンター新潟　機械実習室

新潟精機株式会社　様

本社　新潟県三条市林町1丁目22番17号

ご利用いただいたコース

- ●旋盤加工技術
- ●フライス盤加工技術
- ●NC旋盤プログラミング技術
- ●マシニングセンタプログラミング技術

〈受講者様の声〉

―受講する前とした後で、何か変化はありましたか？

作業しているときに、セミナーで習ったことを活かせないか考えるようになりました。入社1年目ですが以前よりものづくりに対して前向きに考えられるようになりました。

―受講してみて、訓練内容はどうでしたか？

ひとつの機械に対して4日間という短い期間でしたが、計画的に分かりやすく細かい箇所まで指摘してもらいよかったです。

―指導員の教え方はどうでしたか？

短い期間の中で、細かい箇所まで丁寧に教えていただいたり、映像や設計図を用意して理解を深めようとされていたので分かりやすかったです。

―今はどんな仕事を任されていますか。

今は内径研磨作業でNCを使い研磨加工を行っています。まだまだはじめたばかりなので日々指導していただきながら作業をしています。早く力になれるように、今回のようなセミナーには率先して参加していきたいと思いますし、作業についても色々と学んでいきたいと思います。

〈教育担当者様の声〉

―どのような課題があり、オーダーセミナーの受講を決めたのですか？

弊社は各工場それぞれ扱う商品と設備が違います。受講者の方々には自分の担当する業務だけでなく、様々な分野の加工工程を知ってもらうことで成長し、より幅広い知識を習得して欲しいと考えております。オーダーセミナーでの受講は、それぞれに合った教育と育成計画に対応できることで選ばせていただきました。

―受講後、受講者の方は現場でどう活躍していますか？

今まで持っていなかった知識を、今回の受講で得ることができたと思います。これまでできないと思っていたことも、できるという発想を持って行動できるようになり、その先には新たな新商品開発に繋がることを期待しています。

―レディメイドではなくオーダーメイドで受講した利点は何でしたか？

弊社が求めている育成計画に沿った内容で受講ができ、将来を見据えたスキルアップが計れたことです。ものづくりを行っていく中で様々な機械に触れ学べる環境を作ることはいい刺激になり、人材を育てていくのに大事なことだと考えています。

オーダーメイドセミナーについては、1ページをご覧ください

◉ 2022年度能力開発セミナー後期日程表

区分	コース番号	コース名	定員（名）	訓練時間	受講料（円）（税込み）
機械系コース	1M150	アルミニウム合金のTIG溶接技能クリニック	10	12	18,000
	1M160	高能率・高精度穴加工技術	12	12	6,000
	1M041	実践機械製図（各種投影法・寸法記入編） 追加コース	12	18	9,500
	1M141	実践機械製図 追加コース	12	24	12,000
	1M025 1M026	精密測定技術（長さ測定編） 追加コース	12	12	4,500
	1M170	旋盤加工応用技術（テーパ・ねじ加工編）	10	24	17,500
	1M190	計測における信頼性（不確かさ）の評価技術	10	12	7,000
	1M081 1M082	5Sによるムダ取り・改善の進め方	15	12	7,000
	1M200	フライス盤加工技術	6	24	25,500
	1M240	設計・施工管理に活かす溶接技術（設計技術者向けオンライン・実技併用コース） 追加コース	12	15	12,000
	1M210	3次元CADを活用したアセンブリ技術	12	18	11,000
	1M221 1M220	NC旋盤プログラミング技術 追加コース	12	24	12,500
電気・電子系コース	2D752 2D753	組込み技術者のためのプログラミング（C言語・PIC編）	10	12	13,000
	1D031	一般用電気工作物の施工技術	20	24	9,000
	1D018	有接点シーケンス制御の実践技術 追加コース	10	18	10,500
	1D019				
	1D016				
	1D090			12	9,000
	1D017			18	10,500
	1D028 1D026 1D027 1D029	実践的PLC制御技術 追加コース	10	12	6,500
	1D042	現場のための電気保全技術 追加コース	5	18	19,000
	1D051	シーケンス制御による電動機制御技術	10	12	7,500
	1D060	PLCによるタッチパネル活用技術	10	12	6,500
居住系コース	1H021	バリアフリー住宅の設計実践技術	12	12	10,000
	1H031 1H032	実践建築設計3次元CAD技術	12	12	10,000
	1H012	実践建築設計2次元CAD技術	12	12	7,000

日数	掲載ページ	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施場所
2	11	6,7						221教室／溶接実習場
2	11	6,7						測定・試験室／機械実習室
3	12	12,13,14						321教室
4	12	18,19,20,21						321教室
2	13	25,26						321教室
						14,15		321教室
4	13	25,26,27,28						測定・試験室／機械実習室
2	14		1,2					測定・試験室
2	14		8,9					022・023教室
						14,15		022・023教室
4	15		8,9,10,11					測定・試験室／機械実習室
4	10		8,15,17,30					溶接実習場
3	15		16,17,18					第4PC室
4	16		21,22,24,25					第4PC室／機械実習室
				6,7,8,9				第4PC室／機械実習室
2	17	11,12						021教室
				8,9				332教室
4	17		8,9,10,11					223教室
3	18	25,26,27						223教室
			28,29,30					223教室
				6,7,8				223教室
2						4,5		電気実習場
3						14,15,16		電気実習場
2	18		16,17					第2PC室
				14,15				第2PC室
					10,11			第2PC室
							9,10	第2PC室
3	19				23,24,25			225教室
2	19					20,21		電気実習場
2	20				30,31			第2PC室
2	21		12,13					第3PC室
2	21				21,22			第3PC室
							4,5	第3PC室
2	22					18,19		第3PC室

◉コース体系(望ましい受講順序)

機械系コース

◆ご希望により、どのコースからも受講できますが、詳しい訓練の内容につきましては「コース案内」(10 ページから 22 ページ)をご覧ください。

機械製図・CAD

- 実践機械製図(各種投影法・寸法記入編) 1M041 12ページ
- 実践機械製図 1M141 12ページ
- 設計・施工管理に活かす溶接技術(設計技術者向け オンライン・実技併用コース) 1M240 10ページ

→ 2次元CADによる機械製図技術(機械部品製図編)(今年度は終了しました)

→ 3次元CADを活用したアセンブリ技術 1M210 15ページ

精密測定

- 精密測定技術 (長さ測定編) 1M025 ～ 1M026 13ページ

→ 精密測定技術 (精度管理編)(受付終了)

→ 計測における信頼性 (不確かさ)における評価技術 1M190 14ページ

汎用工作機械

- 実践機械製図 1M141 12ページ
- 実践機械製図(各種投影法・寸法記入編) 1M041 12ページ
- 精密測定技術(長さ測定編) 1M025 ～ 1M026 13ページ

→ 旋盤加工技術(外径・内径加工編)(今年度は終了しました) → 旋盤加工応用技術(テーパ・ねじ加工編) 1M170 13ページ

→ フライス盤加工技術 1M200 15ページ

NC 工作機械

実践機械製図
1M141 12 ページ

実践機械製図
（各種投影法・寸法記入編）
1M041 12 ページ

精密測定技術（長さ測定編）
1M025 ～ 1M026 13 ページ

→ NC旋盤プログラミング技術
1M220 ～ 1M221 16 ページ

→ マシニングセンタプログラミング技術
（今年度は終了しました）

切削理論

フライス加工の理論と実際
（今年度は終了しました）

高能率・高精度穴加工技術
1M160 11 ページ

生産管理 / 品質管理

5Sによるムダ取り・改善の進め方
1M081 ～ 1M082 14 ページ

→ 生産性向上を目指した生産管理手法
（今年度は終了しました）

生産現場に活かす品質管理技法
（今年度は終了しました）

機械設計技術・生産技術

機械設計のための総合力学
（今年度は終了しました）

機械保全

生産現場の機械保全技術
（今年度は終了しました）

各種溶接

半自動アーク溶接技能クリニック
（今年度は終了しました）

アルミニウム合金のTIG溶接技能クリニック
1M150 11 ページ

ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック
（今年度は終了しました）

設計・施工管理に活かす溶接技術
（設計技術者向け オンライン・実技併用コース）
1M240 10 ページ

電気・電子系コース

制御技術分野（有接点・PLC 等による制御関連の技術を習得したい方）

- 現場のための電気保全技術 1D042 19 ページ
  - → 一般用電気工作物の施工技術 1D031 17 ページ
  - → 有接点シーケンス制御の実践技術 1D016 ～ 1D019、1D090 18 ページ
    - → 実践的PLC制御技術 1D026 ～ 1D029 18 ページ
      - → PLCによるタッチパネル活用技術 1D060 20 ページ
    - → シーケンス制御による電動機制御技術 1D051 19 ページ

マイコン分野（マイコン技術を習得したい方）

- 組込み技術者のためのプログラミング（C言語・PIC編） 2D752 ～ 2D753 17 ページ

居住系コース

建築計画実践技術（実践的な図面等作成）

- 実践建築設計2次元CAD技術 1H012 22 ページ
- 実践建築設計3次元CAD技術 1H031 ～ 1H032 21 ページ
  - → バリアフリー住宅の設計実践技術 1H021 21 ページ

◉コース案内《機械系》

新コース　設計・施工管理に活かす溶接技術（設計技術者向けオンライン・実技併用コース）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1M240	【Web講習】11/8（火）・15（火）・17（木）	13:00～16:00	15H	12名	12,000円
	【実技講習】11/30（水）	9:30～16:30			
対象者	機械設計、施工管理、技術開発業務に従事する技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者				
概　要	座学による溶接関連知識の習得及び溶接の実体験を通じて溶接技術の要点を理解し、適切な設計、溶接指示、トラブル対処、品質改善などができる技術を習得します（製造工程で溶接が含まれる機械の設計に携わる方を対象）。				
講習内容	1. 溶接法及び溶接機器 2. 金属材料の溶接性ならびに溶接部の特徴 3. 溶接構造の力学と設計 4. 溶接施工実習 ・TIG 溶接 ・半自動アーク溶接 ・被覆アーク溶接 ※製造工程で溶接が含まれる機械の設計に携わる方（設計技術者、施工管理者等）を対象としています。設計と製造現場間でのトラブルを無くし、生産性の向上を図ることを目的としたコースです。 ［半自動アーク溶接実習］				
使用機器	各種溶接機、安全保護具、器工具一式等				
持参品	作業服上下（長そで）、安全靴、作業帽、保護具（無い場合は貸し出し可）、関数電卓（Web 講習のみ）				

オンライン・実技併用コースの流れ

Webで便利に♪

Web講習（Teamsで配信）

事業所内またはご自宅で便利に受講いただけます。

※MicrosoftTeamsでの配信となります。ご利用いただくアカウントはお申込いただいた後、ご連絡します。

事前の接続テストも予定しております。

※テキストはお申し込み後ご郵送します。

・高度ポリテクセンター講師担当

実技で実践的に!

実技実習（ポリテクセンター新潟で実施）

ポリテクセンター新潟にお越しいただき、実技実習を行います。実技にあたっての安全指導も行いますので、安心して受講いただけます。

・ポリテクセンター新潟講師担当

受講者の声（別施設で実施）

オンラインでも、講師の説明やテキストがあるので、対面と変わらない理解が得られました。

アルミニウム合金のTIG溶接技能クリニック

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1M150	10/6（木）・7（金）	9:30～16:30	12H	10名	18,000円

対 象 者	TIG 溶接作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	TIG 溶接作業の技能高度化をめざして、現在の習熟度を確認し、その結果に基づいたアルミニウム及びその合金の TIG 溶接作業の各種継手の溶接実習を通じて、技能の高度化に向けた適正な溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。
講習内容	1. TIG 溶接技術 (1) TIG 溶接の原理と特徴、溶接電源及び装置について (2) 溶加棒及びシールドガスの選び方 2. アルミニウム合金選定のポイント (1) アルミニウム合金の種類と適用時の留意点 (2) 使用目的による選定 3. 溶接施工・実習 (1) 薄板（3mm）の T 字継手・重ね継手・角継手の溶接施工 (2) 薄板の完全溶込み突合せ溶接施工法 4. 溶接欠陥と対策 5. まとめ [TIG 溶接実習]
使用機器	TIG 溶接装置一式、安全保護具、器工具一式等
持 参 品	作業服、作業帽、安全靴、薄皮手袋、防じんマスク、筆記用具

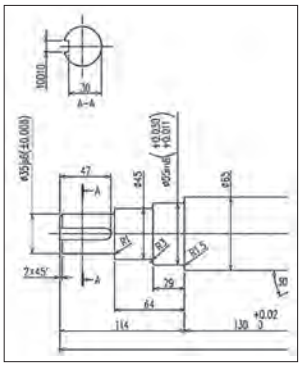
高能率・高精度穴加工技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1M160	10/6（木）・7（金）	9:30～16:30	12H	12名	6,000円

対 象 者	機械加工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	各種穴加工用工具の特性を理解し、最適化に向けたマシニングセンタの実加工による検証実習を通じて、高能率・高精度に穴加工するための工具・工程・条件等の最適化技術を習得します。
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. 穴加工用工具の各種特性 3. 加工精度への影響と対策 4. 穴加工実習 5. 測定と検証 6. まとめ 受講者の声 今までは、社内にある知識、社内にある工具でしか加工をしていなかったが、今回のセミナーで、それよりも深く入った知識を得ることができた。 条件や選定工具を見直す良い機会となりました。 [各種切削工具]
使用機器	立形マシニングセンタ、各種工具、各種測定機器
持 参 品	筆記用具、作業服、安全靴、作業帽、保護メガネ

実践機械製図（各種投影法・寸法記入編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1M041	10/12（水）・13（木）・14（金）	9:30～16:30	18H	12名	9,500円

対 象 者	機械設計関連の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	機械設計／機械製図の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、技能継承に向けた設計現場で求められる機械製図の組立図及び部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を実習を通して習得します。
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. 製図一般 (1) 図面の役割 (2) 製図規格の確認 (3) 投影法の確認 (4) 図面より立体形状の実践的把握 3. 機械製図上の留意事項 (1) 製図立体モデルより 2 次元図面への図示 (2) 加工を考慮した効果的寸法記入法 4. 実践的設計図面の描き方 5. 製図総合課題 6. まとめ ※ 1. 幾何公差について修得したい方は、実践機械製図（コース番号 1M141）（10/18 ～ 21）の受講をお願いします。 ※ 2. CAD は使用しません。 ※ 3. 立体モデルの投影と寸法記入に重点を置いたコースです。  ［課題例］
使用機器	関数電卓、筆記用具、製図用具一式（卓上ドラフター等）
持 参 品	筆記用具

実践機械製図

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1M141	10/18（火）・19（水）・20（木）・21（金）	9:30～16:30	24H	12名	12,000円

対 象 者	機械設計関連の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	機械設計／機械製図の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、技能継承に向けた設計現場で求められる機械製図の組立図及び部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を実習を通して習得します。
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. 製図一般 (1) 図面の役割 (2) 製図規格の確認 (3) 投影法の確認 (4) 図面より立体形状の実践的把握 3. 機械製図上の留意事項 (1) 製図立体モデルより 2 次元図面への図示 (2) 加工を考慮した効果的寸法記入法 4. 実践的設計図面の描き方 5. 製図総合課題 6. まとめ ※ 1. 各種投影法・寸法記入についての確認をし、寸法公差・幾何公差までを習得するコースです。 投影法について詳しく習得したい方は、「実践機械製図（各種投影法･寸法記入編）」の受講をおすすめします。 ※ CAD は使用しません。 公差の種類 / 特性 / 記号 形状公差：真直度 ⏤、平面度 ⏥、真円度 ○、円筒度 ⌭、線の輪郭度 ⌒、面の輪郭度 ⌓ 姿勢公差：平行度 ∥、直角度 ⊥、傾斜度 ∠、線の輪郭度 ⌒、面の輪郭度 ⌓ ［幾何公差例］
使用機器	関数電卓、筆記用具、製図用具一式（卓上ドラフター等）
持 参 品	筆記用具

追加コース　精密測定技術（長さ測定編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1M025	10/25（火）・26（水）	9:30～16:30	12H	15名	4,500円
1M026	2/14（火）・15（水）				

対象者	これから機械加工作業及び測定・検査業務に従事する技能・技術者又はその候補者
概要	加工部門、検査部門や新しくものづくりの仕事に従事する作業者が、精密測定の理論と測定機（ノギス、マイクロメータ等）を現場で正しく取り扱うための知識・技能を測定演習を通して習得することを目標とします。これから機械加工や測定・検査に従事する方に最適なコースです。
講習内容	1. コース概要 2. 測定の重要性 3. 長さ測定実習 4. まとめ 受講者の声 会社では指導されなかった測定器の使い方が学べた。 測定の正しい方法を勉強できた。 ［各種測定器］
使用機器	ノギス、外側マイクロメータ、デプスマイクロメータ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ、定盤、シリンダゲージ、ホールテスト
持参品	筆記用具、作業服（安全に作業ができる服装）

旋盤加工応用技術（テーパ・ねじ加工編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1M170	10/25（火）・26（水）・27（木）・28（金）	9:30～16:30	24H	10名	17,500円

対象者	機械加工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概要	汎用機械加工の現場力強化をめざして、技能高度化に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、実践的な旋盤作業に関する問題解決能力を習得します。
講習内容	1. 概要 2. 各種加工法 (1) ねじ加工 (2) テーパ加工 3. 総合課題実習 4. まとめ ※旋盤加工技術（外径・内径加工編）を受講後の参加を推奨いたします。 ［加工例］
使用機器	汎用旋盤、各種バイト、各種測定具
持参品	筆記用具、作業服（長そで）、安全靴、作業帽、保護眼鏡

計測における信頼性（不確かさ）の評価技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1M190	11/1（火）・2（水）	9:30～16:30	12H	10名	7,000円

対象者	測定・検査等に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概要	測定作業の生産性の向上をめざして、最適化（改善）に向けた計測実習を通して、不確かさの要因分析能力を身に付け、計測の信頼性評価と測定品質改善のための技能・技術を習得します。
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. 計測の信頼性不確かさ 3. 計測の不確かさの原因 4. 計測の不確かさ評価の考え方 5. 測定実験に基づく不確かさ評価の実践 6. 不確かさと計測システムの管理 7. まとめ ・ポリテクカレッジ新潟講師担当予定
使用機器	マイクロメータ、測定物（球、円筒、ブロック）
持参品	筆記用具

マイクロメータの測長測定における不確かさバジェット表(50mmBG 基準)の例

要因	標準不確かさ（標準偏差）$u(x_i)$	評価方法／根拠／タイプ	感度係数 c_i	u_yへの寄与 $\lvert c_i\rvert u(x_i)$
ゼロ点の差(繰返し) s_{ZS}	(0.308μm)	20 回の反復測定／A	1	(0.308μm)
25mmBG(1 級)の誤差 s_{BG25}	0.231μm	カタログ／B	1	0.231μm
マイクロメータ(MM)の誤差(公称) s_{MM}	0.578μm	カタログ／B	1	0.578μm
測定環境(温度) s_t	3.536℃	室温管理／B	2.9×10^{-6} × 25 × 1000	0.256μm
ゼロ点測定の合成標準不確かさ $u_{c1}(BG25) = \sqrt{\sum[c_i u(x_i)]^2}$				(0.748μm)
測長測定(繰返し) s_{MC}	(0.557μm)	20 回の反復測定／A	1	(0.571μm)
50mmBG(1 級)の誤差 s_{BG50}	0.231μm	カタログ／B	1	0.231μm
マイクロメータ(MM)の誤差(公称) s_{MM}	0.578μm	カタログ／B	1	0.578μm
測定環境(温度) s_t	3.536℃	室温管理／B	2.9×10^{-6} × 50 × 1000	0.513μm
ブロックゲージ測定の合成標準不確かさ $u_{c2}(BG50) = \sqrt{\sum[c_i u(x_i)]^2}$				(0.980μm)
長さ測定全体の合成標準不確かさ $u_c = \sqrt{\sum u_i^2}$				(1.234μm)

[説明事例]

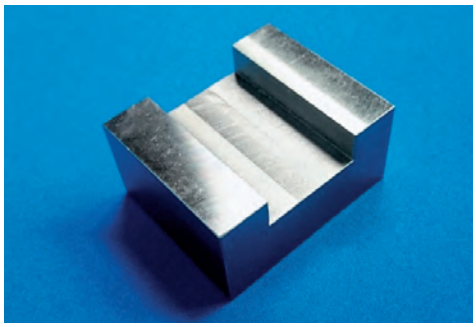
5Sによるムダ取り・改善の進め方　外部講師担当

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1M081	11/8（火）・9（水）	9:30～16:30	12H	15名	7,000円
1M082	2/14（火）・15（水）				

対象者	生産活動（生産効率や品質の向上等）の改善業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概要	製造現場の 5S、ムダ取りの実践や指導力の向上による現場力の強化をめざして、生産現場で発生する問題の分析・改善技法及び指導技法を習得します。
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. 生産現場の構造 3. 5S 推進による現場の改善 (1) 5S とは何か、5S が必要か (2) 5S の進め方 4. ムダ取りの実践による現場改善 (1) ムダとは何か (2) ムダをどのように見つけるか (3) ムダ取りの進め方 5. 現場改善のための指導技法 (1) 5S・ムダ取り推進のインフラづくり (2) 5S・ムダ取りを継続するには 6. まとめ 外部講師担当セミナーは受講者が一定の人数に達しない場合中止となります。 中止の場合は、実施日の 2 週間前にご連絡します。 [5S と PDCA サイクル]
使用機器	パソコン、プロジェクタ、ハサミ
持参品	筆記用具

フライス盤加工技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1M200	11/8（火）・9（水）・10（木）・11（金）	9:30～16:30	24H	6名	25,500円

対象者	機械加工作業に従事する技能・技術者又はその候補者
概要	部品加工や治工具製作におけるフライス盤作業の技能高度化をめざして、加工方法の検討や段取り等を通して、実践的なフライス盤作業に関する問題解決能力を習得します。
講習内容	1. 切削加工概論 2. 課題図面理解及び加工工程の検討 3. フライス加工実習 （正面フライス加工、エンドミル加工） 4. 製品評価 5. まとめ 受講者の声 1 から丁寧に教えていただき、 加工の仕方や使用上の注意点などを学べた。  ［加工例］
使用機器	フライス盤、各種工具、各種測定器具
持参品	筆記用具、作業服（長そで）、安全靴、作業帽

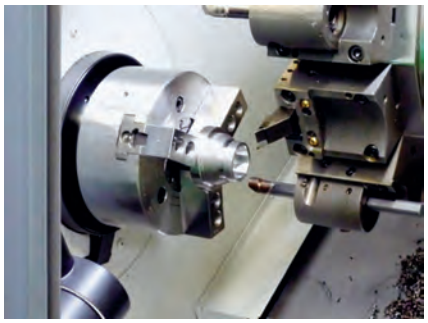
3次元CADを活用したアセンブリ技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1M210	11/16（水）・17（木）・18（金）	9:30～16:30	18H	12名	11,000円

対象者	製品全体の設計・開発業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概要	機械設計の新たな品質の創造又は製品を生み出すことをめざして、高付加価値化に向けたアセンブリ機能を活用した検証実習を通して設計検討項目の検証方法を習得します。
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. 設計とは (1) 製品設計とは (2) 設計の流れと検証ツール 3. CAD を活用したアセンブリとサブアセンブリの構築 4. 検証ツール 5. ボトムアップモデリング演習 6. トップダウンモデリング演習 7. まとめ 受講者の声 3 次元 CAD は当社に導入済みですが、使い方をよく 理解できていませんでした。セミナー受講により、 理解が深まり、業務につながりそうです。 ［3 次元製品構築モデル例］
使用機器	SolidWorks
持参品	筆記用具

NC旋盤プログラミング技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1M221	11/21（月）・22（火）・24（木）・25（金）	9:30～16:30	24H	12名	12,500円
1M220	12/6（火）・7（水）・8（木）・9（金）				

対 象 者	機械加工作業に従事する技能・技術者又はその候補者
概　　要	NC 機械加工の生産性向上をめざして、工程の最適化（改善）に向けたプログラミング課題実習と加工・検証実習を通じて、NC 旋盤作業に関する技術を習得します。 これから NC 旋盤を扱う方に最適なコースです。
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. 各種機能とプログラム作成方法 3. プログラミング課題実習 4. 加工の検証と評価 5. まとめ ※言語は FANUC 準拠です。 受講者の声 使ったことのないプログラムを使って、さらに加工法が増えた。プログラムを体系的に学べ、複合固定サイクルを実際に試すよいきっかけになった。  ［加工イメージ］
使用機器	NC 旋盤、各種切削工具、各種測定機器
持 参 品	作業服、安全靴、安全帽、電卓、筆記用具

◉コース案内《電気・電子系》

組込み技術者のためのプログラミング（C言語・PIC編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D752	10/11（火）・12（水）	9:30～16:30	12H	10名	13,000円
2D753	12/8（木）・9（金）				

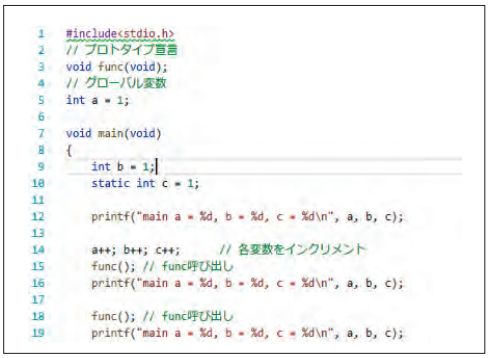
対象者　組込みシステムの設計・開発業務に従事している方、または今後従事予定の方

概　要　組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化に向けた組込みマイコンシステムの構成や開発手法の実習を通して、システムの最適化のための設計・開発技法を習得します。

講習内容

1. 開発環境
2. 開発技法とプログラミング
   (1) 組込み用言語の特徴
   (2) 変数とメモリ
   (3) フロー制御構文による標準制御 I/O 実習
   (4) 配列とポインタ
2. プログラミング応用課
   (1) I/O 制御実習
   (2) 動作確認・デバッグ
   (3) 評価・改善
4. まとめ

・ポリテクカレッジ新潟講師担当予定



```
#include<stdio.h>
// プロトタイプ宣言
void func(void);
// グローバル変数
int a = 1;

void main(void)
{
    int b = 1;
    static int c = 1;

    printf("main a = %d, b = %d, c = %d\n", a, b, c);

    a++; b++; c++;      // 各変数をインクリメント
    func(); // func呼び出し
    printf("main a = %d, b = %d, c = %d\n", a, b, c);

    func(); // func呼び出し
    printf("main a = %d, b = %d, c = %d\n", a, b, c);
```

[C 言語プログラム（関数)]

本コースの空き状況確認・お申し込み先
ポリテクカレッジ新潟（主催施設) 学務援助課　TEL 0254-22-1781　FAX 0254-23-2169

使用機器　PC、統合開発環境、ターゲットボード 他

持参品　筆記用具

一般用電気工作物の施工技術

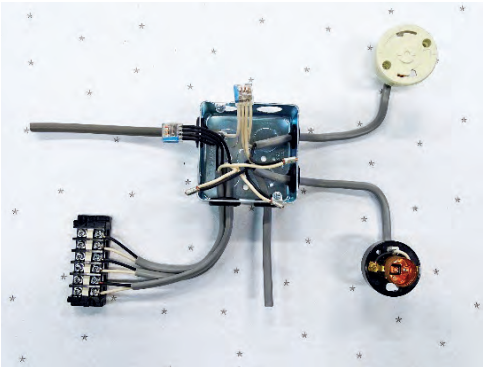
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1D031	11/8（火）・9（水）・10（木）・11（金）	9:30～16:30	24H	20名	9,000円

対象者　電気設備工事の施工や保守に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

概　要　自家用電気工作物の施工における技能高度化をめざして、保守性や安全性を考慮した施工技術を習得します。詳細は、お気軽にお問合せください。

講習内容

1. 電気設備に関する基礎知識
2. 機器選定とその設計
3. 施工・検査
4. 総合実習
5. まとめ



[実習課題例]

使用機器　電気工事用工具類一式、電気工事用配線器具類一式、テスタ、絶縁抵抗計、接地抵抗計、クランプメータ、その他

持参品　筆記用具

追加コース　有接点シーケンス制御の実践技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1D018	10/25（火）・26（水）・27（木）	9:30～16:30	18H	10名	10,500円
1D019	11/28（月）・29（火）・30（水）				
1D016	12/6（火）・7（水）・8（木）				
1D090	2/4（土）・5（日）		12H		9,000円
1D017	2/14（火）・15（水）・16（木）		18H		10,500円

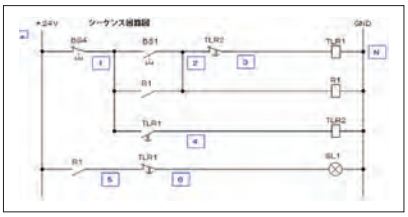
対象者　制御回路等の設計・組立・配線作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

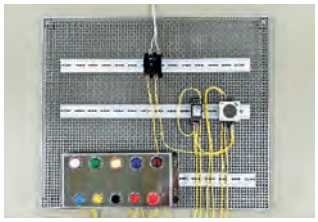
概要　電動機と有接点リレーシーケンス制御による運転回路の設計、制御盤組立などの作業の効率化・改善をめざして、安全と品質に配慮した電動機制御の実務作業とその評価方法を習得します。

講習内容

1. 概要
   (1) 制御機器の種類と構造
   (2) シーケンス図の見方と書き方
2. 有接点シーケンス制御組み立て
   (1) 制御回路の配線方法
   (2) トラブルのない配線をするための技能・技術
   (3) タイムチャートから読み取るシーケンス制御回路設計

※コース番号 1D090 は休日用のコースです。
通常 3 日間のところを 2 日間に凝縮したコースで受講いただけます。


[シーケンス回路図]



受講者の声

知識、技術を新たに身に付け深めることができた。
部下にも伝達、OJT できる内容だった。
本では理解できなかったことが、セミナーで理解できた。

使用機器　電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、スイッチ、表示灯、ブレーカ、テスタ、各工具、その他

持参品　筆記用具

追加コース　実践的PLC制御技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1D028	11/16（水）・17（木）	9:30～16:30	12H	10名	6,500円
1D026	12/14（水）・15（木）				
1D027	1/10（火）・11（水）				
1D029	3/9（木）・10（金）				

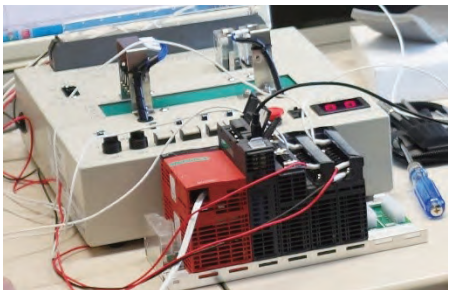
対象者　自動化設備の設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

概要　自動化システムの設計・保守業務における効率化・最適化をめざして、PLC に関する知識、回路の作成、変更法と実践的な生産設備設計の実務能力を総合実習を通して習得します。

講習内容

PLC のシステム構成やラダー図の作成方法を理解し、
効率よくシーケンス制御をするための技法を修得します。
実習を通して、PLC とランプや MC 等の外部機器の接続方法、
制御方法を学習します。

1. ラダーサポートソフトによるプログラミング方法
2. PLC の制御命令とリレー構成
3. PLC と入出力機器の接続


[実習装置]

受講者の声

今まで点で理解していた知識が線になった感覚です。

使用機器　三菱 PLC（Q シリーズ）、パソコン、ラダーサポートソフト、ベルトコンベア負荷装置、テスタ、工具

持参品　筆記用具

追加コース　現場のための電気保全技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1D042	1/23（月）・24（火）・25（水）	9:30～16:30	18H	5名	19,000円

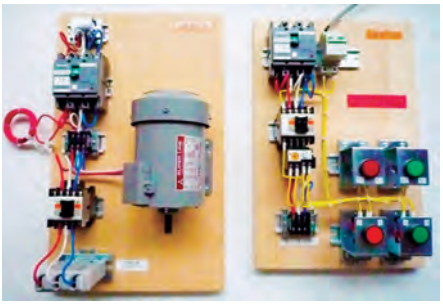
対象者　設備の保全業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

概要　電気設備保全／電気機器設備保全の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、診断・予防保全に向けた現場に即した総合実習を通して、電気保全技術、故障箇所の特定からその対処方法及び、劣化防止、測定試験、作業の安全対策に関する技術を習得します。

講習内容

1. 電圧と電流
2. オームの法則
3. 抵抗の直列・並列接続
4. 直流電気
5. 交流
6. 低圧電気の取扱い
7. シーケンス制御
8. 電気機器保全実習

生産現場の保全に携わっている方、建物の設備管理に携わっている方、機械技術者で電気やシーケンス制御を実践的に学びたい方、これから電気を勉強したい方等の参加も大歓迎です。お気軽にご参加ください。



［不良個所検出課題］

課題を 25 個用意してあります。

使用機器　配線用遮断器、漏電遮断器、変流器、電磁接触器、電磁リレー、サーマルリレー、スイッチ、表示灯、ヒューズ、電動機、力率改善コンデンサ、回路計、絶縁抵抗計、クランプ式電流計、回転計、工具

持参品　筆記用具

シーケンス制御による電動機制御技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1D051	2/20（月）・21（火）	9:30～16:30	12H	10名	7,500円

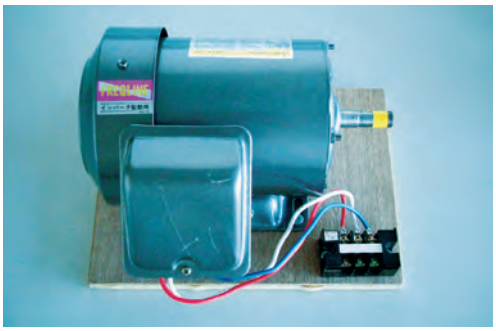
対象者　制御回路等の設計・組立・配線作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

概要　電動機と有接点リレーシーケンス制御による運転回路の設計、制御盤組立などの作業の効率化・改善をめざして、安全と品質に配慮した電動機制御の実務作業とその評価方法を習得します。

講習内容

自動制御回路で多く利用されている三相誘導電動機の直入れ始動、正転逆転、遠方操作、タイマ運転、スターデルタ始動について設計、配線作業、点検ができる技術を学習します。

1. 三相誘導電動機の知識
2. 主回路配線設計
3. 直入れ始動、正転逆転運転、タイマ運転回路作成
4. スターデルタ始動回路の配線とそのメカニズム
5. 回路の点検、メンテナンス方法、安全作業



［三相誘導電動機］

使用機器　三相誘導電動機、電磁接触器、タイマ、ボタンスイッチ、表示灯、工具、その他

持参品　筆記用具

PLCによるタッチパネル活用技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1D060	1/30（月）・31（火）	9:30～16:30	12H	10名	6,500円

対 象 者	自動化システムの設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	自動化システムの設計・保守業務における効率化・最適化をめざして、タッチパネルと PLC を活用した自動化システムの設計に必要な技術を習得します。
講習内容	FA システムに必要不可欠なタッチパネルの役割や機能、PLC との接続や画面開発技術について、実習を通して学習します。普段は取り扱う機会が無いが、将来のために経験しておきたいという方も大歓迎です。 1. 概要 2. タッチパネルの接続法 3. 各種機能 4. 総合実習 5. まとめ ［タッチパネル表示画面］
使用機器	三菱 PLC、三菱 GOT（GT1045）、パソコン、GT-Designer3、GX-Developer8 又は GX-Works3、スイッチ、表示灯、その他
持 参 品	筆記用具

◉コース案内《居住系》

バリアフリー住宅の設計実践技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1H021	11/12（土）・13（日）	9:30～16:30	12H	12名	10,000円

対象者	建築設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者。また、2 次元 CAD 若しくは設計シミュレーションソフトの基本操作を習得しており、建築設計に関する基礎知識を有することが望ましい。
概　要	建築計画の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けたバリアフリー住宅設計実習を通してバリアフリー住宅の設計技術を習得する。
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. 概要 (1) バリアフリー住宅とは何か (2) 関連する法規 3. 高齢者及び障害者の基本的な動作寸法 4. バリアフリー設計の基準 (1) 部屋別設計のポイント (2) 部位別設計のポイント (3) 設備機器のポイント 5. バリアフリー住宅設計図作成 [課題イメージ]
使用機器	パソコン一式、設計シミュレーションソフト（3D マイホームデザイナー Pro9）
持参品	筆記用具

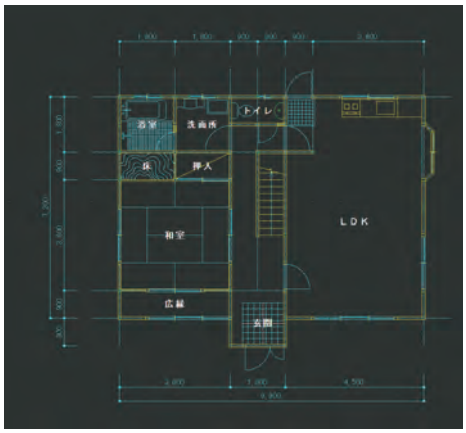
実践建築設計3次元CAD技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1H031	1/21（土）・22（日）	9:30～16:30	12H	12名	10,000円
1H032	3/4（土）・5（日）				

対象者	建築関連業種に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　要	建築設計の省略化・効率化を目指して、建築プレゼンテーションソフトによる建築計画図（図面・パース）作成法を習得します。
講習内容	3 次元 CG の製作手順 1. 敷地図を描く 2. 平面図を描く 3. 屋根を設定 4. 3D 外観確認 5. テクスチャーを貼り付ける 6. 家具を配置 7. プレゼンボードの作成方法 [課題イメージ]
使用機器	建築プレゼンテーションソフト（3D マイホームデザイナー Pro9）、パソコン一式
持参品	筆記用具

実践建築設計2次元CAD技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
1H012	2/18（土）・19（日）	9:30～16:30	12H	12名	7,000円

対 象 者	建築意匠設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
概　　要	建築図面の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得する。
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. 実践的な建築図面作成の要点 ⑴ 図面作成の準備 イ. 用紙・図面尺度、図面範囲設定、レイヤ設定 ロ. 線種と線種設定 ⑵ 図面作成 イ. 図面の要素、作図 ロ. 記号、寸法等 ⑶ 図面修正・データ整理 イ. 印刷図面と図面表現の確認 ロ. 図面表現の訂正・修正等 3. 種々の図面の構築方法 ⑴ 図面間でのデータ活用 ⑵ 尺度の考え方 ⑶ 異尺度混合図面の構築方法と環境設定 4. 演習課題  ［課題イメージ］
使用機器	パソコン一式、2 次元 CAD ソフトウェア（Jw_cad）
持 参 品	筆記用具

居住系

◉指導員派遣（講師派遣）

事業主等の皆様が自ら行う社員教育や研修に対して、ご相談内容に応じた職業訓練指導員の派遣を行っています。

利用要件

❶ 指導員派遣費は指導員1人1時間当たり5,000円（税込み）です。

❷ 当センターの施設、設備を使用して実施する場合は施設設備使用料、また、事業所に出向いて実施する場合は交通費等の実費がかかります。

❸ 教材、消耗器材等の経費は事業主負担となります。

※ご相談の内容、日程などご要望に添えない場合がありますのであらかじめご了承ください。

指導員の専門分野　訓練指導に関する当センター指導員の主な専門分野

機械金属分野

- 機械加工（汎用機械、NC機械、機械設計・製図等）
- 形成加工（板金、溶接・配管、構造物鉄鋼・製缶等）
- 機械制御（油空圧、プログラマブルコントローラ制御、自動化制御等）
- 生産システム（CAD/CAM等）
- 機械保全（機械保全等）
- 管理技術（安全・環境、生産管理、品質管理等）

電気・電子分野

- 電気工学（電気理論、電気機器等）
- 制御工学（シーケンス制御、プログラマブルコントローラ制御等）
- 通信工学（通信等）

建築・設備管理等分野

- 建築施工（施工計画、施工管理、木造躯体工事、木造仕上げ工事、木造改修・修繕等）
- 建築計画（建築法規、インテリア計画・建築設計・製図等）
- 建築設備（空気調和設備、給排水衛生設備、建築電気設備等）
- 関連（建築関連、木工関連等）

◉施設設備貸与

事業主または事業主団体等が行う教育訓練、技能・技術研修、各種技能検定やその準備講習などに教室・実習場等の施設設備や機器等の貸与による支援を行っています。

ご利用について

❶ 当センターで実施する能力開発業務等に支障のない範囲で貸与いたします。
❷ 営利目的または政治、宗教活動及び公序良俗に反すると認められるものは貸与できません。
❸ 使用申請の受付は原則として、使用日の2ヵ月前からとします。
❹ 貸与に関しては、当センター施設等貸与規定により一部制限がありますので詳細については事前にご確認ください。
❺ 閉庁日の施設貸与については、別途警備員料がかかります。
❻ 施設設備を毀損、焼失等した場合は、その損害を賠償していただきます。
❼ ご利用日前6日以内でのキャンセルについては、未納使用料を徴収いただくとともに、納入済みの使用料は返金できません。
❽ 新型コロナウイルス感染防止のため、「3つの密（密閉・密集・密接）」を避けてのご利用となります。
❾ ご使用中の一切の事故については、当センターでは責任を負いかねますのであらかじめご承知ください。

熱中症対策
エアコン完備

溶接実習場

機械実習室（NC 旋盤）

022 教室・023 教室

コンピュータ室

主な施設一覧

教室・実習場名	定員（人）	面積（㎡）	空調（設備の有無）	使用料金（円）/時 通常期 5月~6月･10月	冷房期 7月～9月	暖房期 11月～4月	備考
第1コンピュータ室	16	121.50	有	50円	100円	100円	
溶接実習場	－	455.09	有	100円	350円	1,150円	指導員配置より貸与。材料、ガスボンベ等は原則持参。
021教室	20	76.95	有	50円	100円	100円	
022教室・023教室	60	149.1	有	100円	200円	200円	分割使用可能
講師控室	6	16.86	有	50円	100円	100円	

現在、当センターでは「外構工事」を実施しているため、工事期間中は駐車場の収容台数が制限されますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先　訓練課受講者第二係　TEL 0258-37-0450

◉北陸ブロック能力開発施設等のご案内

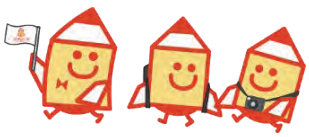
ポリテクセンター新潟は表紙裏面をご覧ください。

施設名	所在地	ホームページ	お問い合わせ先
ポリテクカレッジ新潟	〒957-0017 新潟県新発田市新富町1-7-21	https://www3.jeed.go.jp/niigata/college/	TEL：0254-23-2168 FAX：0254-23-2169
ポリテクセンター富山	〒933-0982 富山県高岡市八ヶ55	https://www3.jeed.go.jp/toyama/poly/	TEL：0766-22-2738 FAX：0766-23-6445
北陸ポリテクカレッジ	〒937-0856 富山県魚津市川縁1289-1	https://www3.jeed.go.jp/toyama/college/	TEL：0765-24-5552 FAX：0765-24-4770
ポリテクセンター石川	〒920-0352 石川県金沢市観音堂町へ1	https://www3.jeed.go.jp/ishikawa/poly/	TEL：076-267-0801 FAX：076-267-0891
ポリテクカレッジ石川	〒927-0024 石川県鳳珠郡穴水町由比ケ丘いの45-1	https://www3.jeed.go.jp/ishikawa/college/	TEL：0768-52-1323 FAX：0768-52-3139
ポリテクセンター福井	〒915-0853 福井県越前市行松町25-10	https://www3.jeed.go.jp/fukui/poly/	TEL：0778-23-1011 FAX：0778-23-1013
ポリテクセンター長野	〒381-0043 長野県長野市吉田4-25-12	https://www3.jeed.go.jp/nagano/poly/	TEL：026-243-1001 FAX：026-243-2797
ポリテクセンター松本	〒399-0011 長野県松本市寿北7-17-1	https://www3.jeed.go.jp/matsumoto/poly/	TEL：0263-58-2905 FAX：0263-58-5062

高度ポリテクセンターのご案内

さらに
ワンランク上の
スキルアップを
目指して！

年間、約700コースの豊富なカリキュラムをご用意しております。
経験豊富な講師陣による実践的な研修内容です。
社員教育の一環としてご利用ください！



人気コースの一例

詳しくは、ホームページ又は当センターのコースガイドをご覧ください

- ●5軸制御マシニングセンタ加工技術
- ●IoT時代の組込みAI実装技術
- ●マシンビジョン画像処理システムのためのライティング技術
- ●機械設備における実践リスクアセスメント
- ●ロボットシステム設計技術

高度ポリテクセンター事業課まで、お気軽にお問い合わせください。
千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2　TEL：043-296-2582
https://www.apc.jeed.go.jp/

ホームページ　Twitter

能力開発セミナー受講申込書

新潟職業能力開発促進センター　宛
次のセミナーについて、訓練内容と「コース案内」を確認のうえ申込みます。

令和　　年　　月　　日

フリガナ				
会社名				
所在地	〒　　－		TEL	
			FAX	
担当者	所属部署等		業種	
	フリガナ		企業規模（該当に○印）	A.1～29　B.30～99　C.100～299 D.300～499　E.500～999 F.1,000人以上
	氏　名			
	E-mail（オンライン・実技併用コースのみ記入）			
受講区分（該当に○印）	1．会社からの指示による受講（※1）		2．個人での自己受講	
訓練に関する経験・技能等（※2）				

	コース番号	コース名	実施日	フリガナ 受講者氏名	生年月日（西暦）
1				男・女	年　月　日
	就業状況（該当に○印）	1 正社員　2 非正規社員　3 その他(自営業等)		※就業状況の非正規雇用とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。	
2				男・女	年　月　日
	就業状況（該当に○印）	1 正社員　2 非正規社員　3 その他(自営業等)		※就業状況の非正規雇用とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。	
3				男・女	年　月　日
	就業状況（該当に○印）	1 正社員　2 非正規社員　3 その他(自営業等)		※就業状況の非正規雇用とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。	

※1　受講区分の「1．会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方（事業主、営業所長、工場長等）にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
※2　訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講履歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入下さい。
（例：切削加工技術作業に約5年間従事）
（注）訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたらあらかじめご相談下さい。

オンラインコースをお申込みの方は、以下をご確認ください。

□通信の方法による在職者訓練利用規約に同意します。
※同意される場合は、□に✓をご記入ください。

※セミナー開講2週間ほど前になりましたら、当センターからTeamsのアカウント情報等のご案内メールをお送りします。下記アドレスから送信いたしますので、受信できるように設定をお願いします。
niigata-poly01@jeed.go.jp

利用規約は左記二次元バーコード読み取りまたは下記URLからご確認いただけます。
※必ず「通信の方法による在職者訓練 利用規約」をお読みください。

https://www.apc.jeed.go.jp/online_kiyaku/01.pdf

注　意　事　項

お申し込み後のキャンセルは、開講日7日前までに訓練課受講者第二係へご連絡下さい。開講日前6日以内のキャンセルは、受講料の返還はできませんのでご了承願います。

個人情報保護について

- 当センターは、「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（連絡・修了証書の交付、修了台帳の整備・業務統計等）及び業務統計、当センターのセミナー等のご案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
- 今後、当センターの能力開発セミナー等のご案内を希望しますか？
  □希望する　　□希望しない

お申込み・問い合わせ先
ポリテクセンター新潟　訓練課受講者第二係
TEL:0258-37-0450　FAX:0258-33-2422

交通のご案内

徒　歩　／長岡駅東口より南へ約1.4km
バ　ス　／長岡駅東口７番線より「ポリテクセンター新潟」下車
タクシー／長岡駅東口より約５分

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構新潟支部
新潟職業能力開発促進センター
ポリテクセンター新潟

〒940-0044　新潟県長岡市住吉３丁目１番１号
TEL 0258-37-0450　FAX 0258-33-2422

ポリテク新潟　検索